

三木市不登校対策アクションプラン



令和7年4月1日

三木市教育委員会

はじめに

三木市では、「すべての子どもが今を幸せに感じられる学校づくり」を進めています。中でも、学校に行きづらさを感じている子どもたちへの支援を大切にしています。

「三木市不登校対策アクションプラン」には、そうした子どもたちが将来、社会で自分らしく生きていくための力を育めるよう支援の基本的な考え方や留意点を示しています。学校復帰だけを唯一の目標とするのではなく、学校、家庭、地域、そしてさまざまな関係機関が連携し、一人一人の子どもの社会的自立を支えます。

また、子ども一人一人の状況に寄り添いながら、安心して学べる場所や、気軽に相談できる場所を提供します。

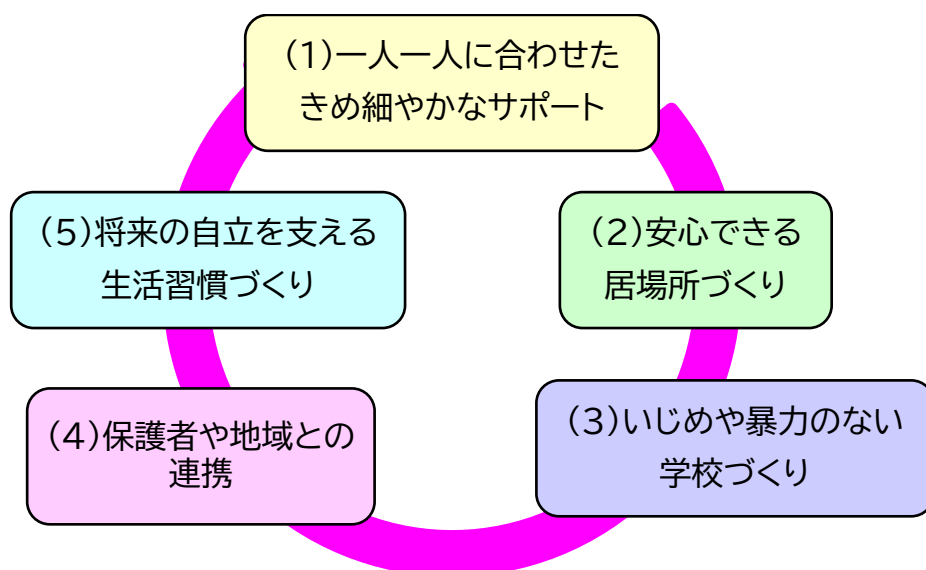
このプランを通じて、学校に登校しにくい子どもたちが今を幸せに感じ、希望を持って未来へ踏み出せるよう、三木市全体でサポートを行っていきます。

1 不登校を生まない、魅力あふれる学校づくり

子どもたち一人一人が大切にされ、安心して通える学校をつくるために、「学校に行きづらくなってから」ではなく、ふだんから子どもたちが「学校に行きたい」と思えるような環境づくりに取り組んでいます。

たとえば、子どもたちが自分で選んだり工夫したりできる授業、教員と子どもたちが一緒に考え、話し合って決めるルール失敗をしても認め合える、安心できる教室の雰囲気などです。

「学校って、自分が成長できる場所なんだ。」と感じられるように、子どもたちの気持ちに寄り添った学校をめざしていきます。



2 具体的な支援

(1) 早めの気づきと対応

学校では、タブレットなどを使った健康観察を通して、子どもたちのちょっとした変化にも早く気づけるようにしています。

欠席が続くときには、子どもの気持ちに寄り添いながら、丁寧に連絡を取り、必要な支援につなげられるよう心がけています。

また、一人一人の状況に合わせて、どのように対応するかを学校内で共有しながら、学校全体で子どもを見守っています。



(2) 役割分担を明確にしたサポート体制



学校に行きづらくなる理由や背景は、子どもによってさまざまです。友だちとの関係、家庭での悩み、勉強のつまずき、なんとなく気持ちが前に向かないこと、不安な気持ち、人との関わりが苦手だったり、まわりと同じように行動するのが難しかったりすること…等々。いくつかの要因が重なっている場合もあります。

こうした一人一人の状況をていねいに受け止めるために、教員だけでなく、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、不登校対策指導員などが一緒に話し合い（ケース会議）を行います。子どもが将来、社会で自分らしく暮らしていけるように、それぞれの立場から支援の方法を考え、計画を立てて取り組んでいます。

(3) 学校内のサポート体制

授業を受ける教室とは別に、安心して過ごせる「もうひとつの学びの場所」（校内サポート教室）を設けている学校もあります。これは、学校の実情に応じて設けられるもので、学校生活に不安を感じている子どもが、落ち着いて学んだり相談したりできるよう支援する場所です。

担当の教員を配置し、子ども一人一人の状況に応じた学習の機会や、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）による個別相談なども計画し、学校全体で支えています。



(4) 多様な学びの場の確保

学校に行きづらい子どもたちが、それぞれのペースで安心して学べるように、「校内サポート教室」（学校の中の落ち着いて過ごせる場所）や、教育センター内にある「みっきいルーム」（学校の外にある学びと安心の場）、自宅でのタブレットを使った学習など、いろいろな学びの方法があります。また、地域のフリースクールで学ぶという場合もあります。



子ども一人一人が自分に合った環境で学びながら、将来、社会の中で自分らしく生活していけるよう、民間の施設や支援団体とも連携しながら、安心できる「居場所」や「学びの場」の充実に取り組んでいます。

(5) 不登校対策指導員によるサポート

子どもが学校や「みっきいルーム」などに通えないときでも、心を閉ざさずに安心して過ごせるよう、訪問や電話による支援を行っています（引きこもりの予防）。



また、教員やカウンセラーなどと一緒に、子どもに合った支援の方法を話し合う会議（ケース会議）に参加し、子どもを支える体制づくりに取り組んでいます。

さらに、子どもが学校に行きづらくなったという保護者の方が、安心して相談したり話したりできる「よつば会」という集まりも開いており、保護者同士の交流や情報共有の場として活用されています。

(6) 専門家(スーパーカウンセラー)による不登校サポート

不登校の理由は、子ども自身もうまく言葉にできないような、いろいろな不安や気持ちが重なっていることがあります。



そんなとき、子どもの心に寄り添う専門家（臨床心理士など）が、子どもや保護者、教員の話をつじっくり聞きながら、どうすれば子どもが少しずつ安心して前に進めるかを一緒に考えます。

表面的な様子だけでなく、その子の気持ちの背景まで理解しようとする支援で、不登校の子ども一人一人に合った関わり方を見つけていきます。

その悩み、一人で抱え込まないで、まずは相談を

<相談窓口一覧>

相談窓口	相談対象者	相談方法
スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー	児童生徒 保護者	・ 各小中学校での面接相談(要予約)
三木市立教育センター あんしん教育相談	児童生徒 保護者	・ 電話相談 TEL:83-2020 (月～金、9:00～17:00)
三木市立教育センター 「青少年カウンセラー 青少年悩みの相談」	児童生徒 保護者	・ 教育センターでの面接相談(要予約) ・ 電話相談 TEL:82-8686 (月～金、9:00～16:00)
三木市こども福祉課 子育て相談	保護者	・ 児童センターでの面接相談(要予約) ・ 電話相談 TEL:82-9910 (月～金、9:00～16:00)
こころの相談窓口	児童生徒 保護者	・ 教育センターでの面接相談(要予約) ・ 電話相談 TEL:89-2471 (月～金、9:00～17:00)
子どもいじめ防止センター	児童生徒 保護者	・ 子どもいじめ防止センター面接相談 ・ 電話相談 TEL:82-8110 (月～土、9:00～17:00)
「不登校・ひきこもりネットワーク」 ほっぷ☆すてっぷ	保護者	・ 三木市社会福祉協議会 83-0090 (ボランティア活動プラザみき)
不登校親の会 よつば会	保護者	・ 82-2000 (代表) (奇数月 最終金曜日 18:00～19:00 教育センター)
三木市教育委員会 学校教育課	保護者	・ 82-2000 (代表) (月～金、8:30～17:00)